

参加者：倉富会長、山口副会長、金子、原、上城、小池、松尾、堀、小松、鶴田、本山、熊谷

## 1. 会長報告

報告事項：

①介護実習普及センター 福祉用具専門相談員指定講習会へ講師派遣

②第 3 回九州地区作業療法士会会長会議 (山口副会長より報告)

・報告内容は別紙資料参照

・同日および翌日に、九州作業療法士会会長合同研修会も開催されている。

研修会「作業療法士のためのコーチング」

講師：島袋 十史樹先生 参加者：54 名程度

演習、グループワーク中心で実施された。好評であり、次回も島袋先生の予定。

③精神科事例検討会実施

その他：

①作業療法啓発活動プロジェクト

・養成校において、OT の学生が少ない。OT 協会も力をいれて、啓発活動を行う。

県士会や養成校も協力して活動する。

②合同学会査読委員の確認

・佐賀県内の査読委員は現状のままで良いか？ (別紙資料参照)

→理事会にて、現状の委員で承認される。

## 2. 各部局からの報告

広報部 (上城 OTR)

・県士会 HP の件：研修会のページを見ている方が多い。研修会などあれば、掲載するので連絡を。加えて求人閲覧も多い様子。求人はまだ載せていないので広告があれば、同じく連絡を。

・広報誌の作成：3 月にムツゴロウニュースを発行予定。

・学術誌の件：現在 5 演題ほどあり、冊子の作成は可能。投稿規定 (別紙資料) も作成済み。HP への掲載も検討。冊子の予算 (印刷、送付代など) やどの部局が担当するのか？編集委員の増員などを検討する。どこに送るのかは、会報とともに会員に送付することや、他会報を送っているところに送付するようにしてはどうか。

学会発表など行った演題を一部変えて掲載するなど援助したい。また事例を交えてなど臨床に活かせる学術誌にしていきたい。

保険部 (堀 OTR)

・平成 22 年度の診療報酬改定の骨子が 1 月 13 日に出ており、それに対して OT 協会から各会員に対して意見を募集している。協会 HP に詳細は掲載。しかし期間は 1 月 15

日～22日まで。このような急を要する連絡は各会員にむけて発信できない。そこで、県内の会員にタイムリーに情報を伝達できる手段を考えていく必要がある。検討していく。

#### 教育部（金子 OTR）

- ・2月14日に新人教育プログラム実施予定。
- ・認定作業療法士の選択研修会を佐賀県でも行ってほしいとの打診あり（平成22年度）。開催はOT協会で、運営の協力を県士会にとのこと。  
→総会時に会員に、認定作業療法士の研修会を受講するかの意向を確認し、検討する。

#### 佐賀県作業療法士学会の報告（鶴田 OTR）

- ・学会は5月16日（日）。講師案として帝京大学の渡辺 OTR に感覚統合の講義（小児だけではなく、精神や高齢者の対象者も含めて）、国際医療福祉大学の北島 OTR に福祉用具に関する講義。どちらかにするか。2つにするか？検討。理事案では可能であれば両方開催にしていく（同時開催も検討）。
- ・学会に合わせて前日に懇親会を予定する。新卒者の歓迎会を含めて。午後および夜間帯にセミナーを開催してみてもどうか？新人教育プログラムを開催する方向で検討する。懇親会には新卒者は必ず参加するようにしていきたい。佐賀県の理学療法士協会は1～3年時は泊まり込みでの研修会を毎年開催している。

#### 財務部より報告（原 OTR）

- ・督促状を郵送してから納入率は増えている。現在6割程度は納入している。
- ・決算に関して、年度替わりに合わせて、金銭の管理を行いたく、平成21年度の活動費は3月中旬までに精算したく、各部局にはお願いしたい。

### 3. 検討事項

#### ①平成22年度の活動および予算案に関する事

- ・新人教育プログラムは5月、9月、1、2月ごろの年3回開催予定。
- ・県学会は5月に実施予定。研修会を夏・冬の2回開催予定。また現職者研修会も予定する。
- ・作業療法の日（9月25日）前後に推進に関するイベントを行う予定。案として市民講座のような企画、一般や高校生向けの内容で、またTVや広告を使い広報していく予定。

### 4. その他連絡事項

- ・次年度の活動計画を1月末までに事務局川辺 OTR まで、また予算案を原 OTR まで。
- ・勉強会について（山口副会長）  
白石共立、ひらまつ、有島病院で主に開催している勉強会を SIGO への登録を理事会で承認していただきたいとのこと。学術部長には連絡している。→ 理事会で承認。

次回の理事会は、3月16日（火）19:00～の予定。